

国会議事堂

鈴木 秀文

最近(2022年3月)、現在の国会議事堂が完成するまでの木内昇の渾身の長編小説「剛心」を読んだ。

天災、疫病、政治の混迷を乗り越えて明治から昭和にかけて、日本の未来を拓こうと日本の建築設計界の巨塔辰野金吾らと闘い続けた官僚建築家妻木頼黄を主人公に展開するものです。

現在、ウクライナではロシアの軍事侵攻により悲惨な状況が続いています。世界の各地でも紛争が止みません。この状況を利用して日本でも防衛費の増額を声高に叫ぶ傾向にあります。このような状況から平和な世界を目指すためには、議会制民主主義の重要性を再確認する事が重要だと考えます。

日本の未来を決める国会議事堂は平和の象徴です。現在手元にある国会議事堂関連の切手、絵はがきを整理して平和を考える機会になればと思いました。



国会議事堂竣工までの歩み

明治14年(1881年)10月21日

「明治23年を期し議員を召し国会を開く」国会開設の勅諭が発せられる。

明治19年(1886年)2月

内閣に臨時建築局が設けられ、議事堂建築にあたることになる。

明治20年(1887年)4月

議事堂建築予定地を麴町区永田町1丁目に決定。中央官庁の集中計画案が策定され、エンデとバックマンにより議事堂の設計案も策定されました。



その後、工事費と工期の関係で本建築は中止、仮議事堂での開設が決定された。

第1回仮議事堂

明治23年(1890年)11月24日 竣工 木造像 2階建
11月29日 貴族院議場で開院式第1回帝国議会開会
明治24年(1891年) 1月20日 漏電による火災で焼失



第1回仮議事堂 前景



明治 23 年 11 月 最初開院式図

第2回仮議事堂

明治24年(1891年)3月30日 竣工 木造2階建
大正14年(1925年)9月18日 補修工事中の火災で焼失

広島臨時仮議事堂

明治27年(1894年)10月14日 竣工 木造平屋建
日清戦争の大本営が広島に置かれた為「第7回帝国議会を広島で招集する」と9月22日に公布されたため、僅か3週間余りで竣工させました。
帝国議会の開催は僅か4日間でした。

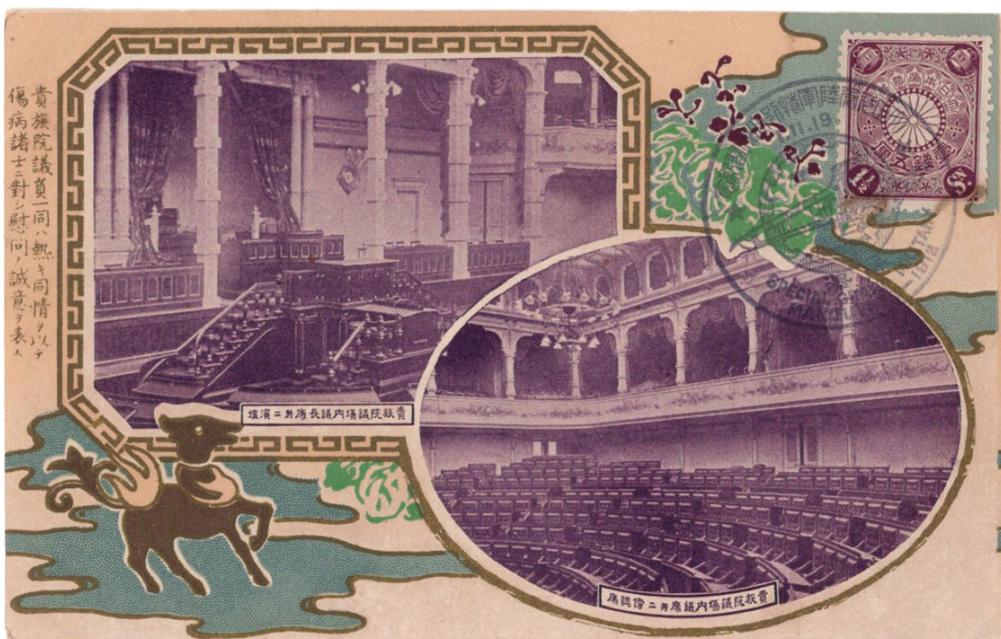
第3回仮議事堂

大正14年(1925年)12月22日 竣工 木造2階建
設計から竣工まで僅か80日余りで完成させました。
その後、本議事堂が完成するまで議会が開催されました。

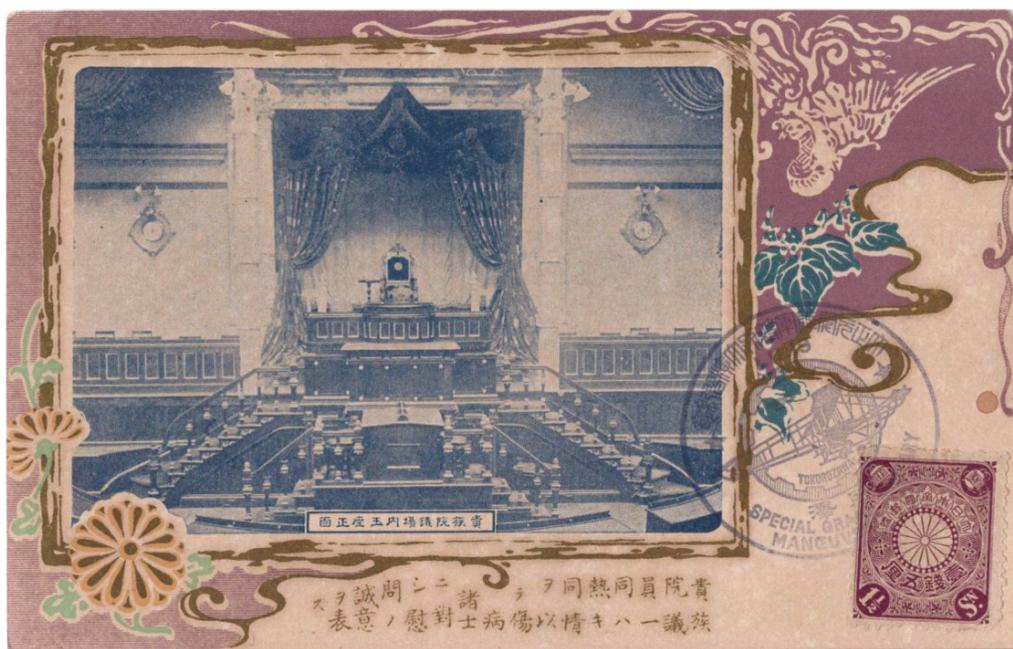


貴族院前景と正門

第2回仮議事堂



貴族院議場 演台と傍聴席



貴族院議場 玉座正面

帝国議会議事堂完成記念 1936.11.7

1920年(大正9年)に着工し17年の歳月と延べ245万人に依って東京に建設された国会議事堂の竣工を記念して発行されました。

現在の議事堂の前には1890年、1891年、1925年に3次に渡り仮議事堂が建設されています。

● 国会議事堂建築概要

旧名称 帝国議会議事堂
 設計者 大蔵省臨時議院建築局
 着工 1920年1月30日
 竣工 1936年11月7日
 所在地 東京都千代田区永田町1丁目7番

構造形式 鉄骨鉄筋コンクリート造
 敷地面積 103,001 m²
 建築面積 13,358 m²
 階数 地上3階、地下1階、中央塔4階(塔屋最上階部9階)
 高さ 両翼 20.91m、中央塔 65m。



議事堂全景



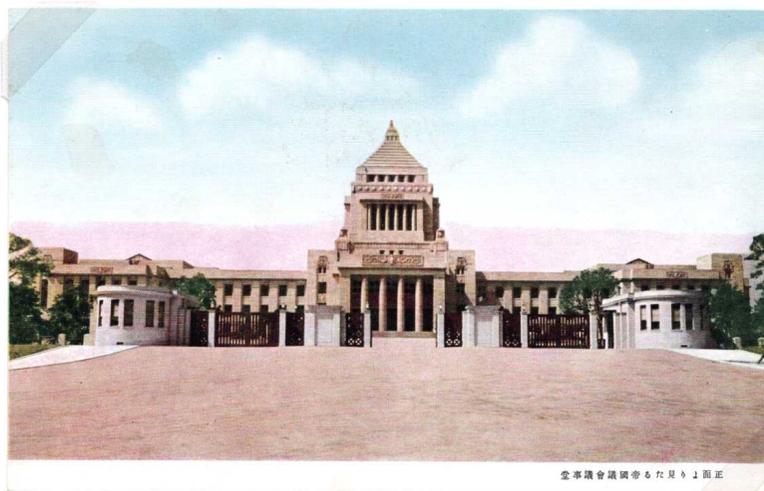
議事堂全景



皇室用階段



皇室用階段



参観記念絵はがき